

令和6年度（2024年度） 事業実績報告書

Ⅰ. 申請者の概要

申請者	団体名		泉南市商工会
	代表者職・氏名		会長 藤田 眞弘
	所在地		〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5
	担当者	職・氏名	事務局長 土井 一茂
		連絡先	T E L（直通）： 072-483-6365
			F a x： 072-483-5321
		E - m a i l： info@sennan-sci.or.jp	
①設立年月日			昭和47年7月10日
②職員数 （うち経営指導員数）			6名（経営指導員5名）（令和7年3月31日現在）
③所管地域			大阪府泉南市
④管内事業所数			1,943（令和3年度経済センサス）
⑤管内小規模事業者数			1,272（令和3年度経済センサス）
⑥会員数（組織率）			1,218（令和7年3月31日現在）
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>(2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>(4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>(5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあつせんを行うこと。</p> <p>(6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>(7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>(8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>(9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>(10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。</p> <p>(11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>(12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>(13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>(14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。</p> <p>(15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>			

<p>(1) 事業の目標</p> <p>中小企業・小規模事業者が抱える経営上の課題を把握・解決するため、巡回指導及び窓口相談を通して潜在的なニーズの収集、事業所に応じた適切かつ効果的な経営アドバイスと具体的な経営支援を実施することにより、活力に溢れた地域経済を自治体はじめ公的機関・団体、地元金融機関等と連携を図り構築することを目標とする。経営相談事業では、相談者が抱える経営課題をしっかりとヒアリングする中で抽出・把握しニーズに合致した経営支援を行う。経営課題解決に向けたサービスの提案と必要に応じた支援を行うことを目標とする。専門相談支援事業においては、個別の専門的な課題解決による経営の安定を図るため各種専門家と連携し、課題に対して迅速に対応解決することを目標とする。地域活性化事業においては、事業者のニーズが高い経営課題をテーマとした各種セミナーや府連携及び広域連携、独自提案事業を行うことにより、販路開拓・脱炭素経営・事業承継など小規模事業者の経営の持続的発展に向けた事業展開を目標とする。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p> <p>経営相談支援事業では、各事業所のニーズと現況を十分に把握した上で、迅速かつ的確な回答が出来るよう職員向けセミナーを開催し、職員の資質向上に努め組織体制を整えた。特に情報提供と昨年度に続き会員向けアンケートを実施し、巡回訪問を重点的に実施した。補助金の活用に向けた事業計画書策定支援も増加し、販路開拓や生産性向上に向けた取り組みに関する支援を強化し、日本政策金融公庫泉佐野支店との連携により、経営改善に向けた資金調達支援・事業承継支援に努めた。専門相談支援事業では、経営指導員だけでは単独支援が困難な高度専門的な課題については、専門家と連携し事業者の抱える課題解決に努めた。</p> <p>地域活性化事業については、忠岡町・熊取町・阪南市・岬町商工会他泉州地域全体の広域連携を心掛け、商工会物産展を効率的に効果が上がるように事業を実施した。また、多くの事業者が抱える課題（インボイス対応や電子帳簿保存法対応など）の解決に独自に税理士相談会を開催するとともに、大阪府の支援施策の周知や活用促進（脱炭素経営や大阪万博機運醸成など）も積極的に推進した。人材確保支援として中高年齢層も含めた幅広い層の求職者へ向けた合同就職面接会を実施した。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p> <p>経営相談支援事業では、管内小規模事業者が抱える潜在的な経営課題を巡回指導によるヒアリングを基に経営実態を把握した。経営指導員が適切・丁寧な指導を心掛けることで、多種に渡る経営課題の解決に向け、相談事業者に一歩踏み込んだ伴走型個社支援を効果的に支援することが出来た。今年度はマル経融資、販路開拓支援、インボイス制度・電子帳簿保存法対応による記帳支援や労務相談など、小規模事業者等が抱える経営課題の発掘と相談内容に応じた経営支援を実施した。専門相談支援事業では事業計画策定や労務対策など専門的かつ高度な相談に対し、金融・税務・法務・経営の定期窓口相談にて支援を実施した。地域活性化事業では「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催し、運営協議会・実行委員会が中心に軌道に乗せ、販路開拓や商品開発等に取り組んだ。「せんなんまちゼミ」は実行委員会が中心となり、「泉南まるごとフェスティバル」と協調し認知度向上、集客アップのためSNS等の活用をより進めた。「工業振興対策事業」ではニーズの高い事業所視察と情報交換会、経営セミナーを開催した。また、管内中小企業が『2050年CO2排出量実質ゼロ』を目指し、未来社会の情報共有や持続可能な脱炭素社会へ向けた取り組みなどを紹介した「脱炭素経営へ向けた取り組み支援事業」を開催した。2025年大阪・関西万博開催に向けた中小企業の参画促進を目指し、経済効果や最新情報を各企業に波及させることを併せて目的とし開催した。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p> <p>国際情勢の緊迫化や円安といった外部環境の変化が小規模事業者に与える経済的影響は非常に大きい。加えて消費税インボイス制度（2割特例）への対応などの経営課題が山積している状況である。多くの事業者が高齢化し事業継続が精一杯の状態であり、後継者不在のため事業承継をスムーズに行えていない。商工会は事業の内容拡充を図り、巡回指導・窓口支援を中心に賃金の引き上げやDX化といった事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者からの経営相談や各種申請サポートを行うため、相談員等の配置による支援体制の強化や課題解決を円滑に進めるための専門家の派遣、制度周知・広報事業により一層取り組む必要を感じた。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p> <p>資材・原材料等の高騰や急激な為替変動による円安の進行などは、地域経済の在り方を抜本的に変えるには十分なものであり、管内中小・小規模事業所を取り巻く経済は依然として非常に厳しい状況にある。こうした現状を踏まえ、商工会は巡回指導を基本とした伴走型の指導・助言により事業所の実態把握に努め、ビジネスの変革に伴うデジタル化の推進（HPリニューアルに伴うビジネスモールへの参画）、新事業展開（海外展開含む）へ向けた事業計画作成や脱炭素・カーボンニュートラル・雇用促進・人材育成・BCP策定など持続可能な社会実現に向け、中小・小規模事業者のニーズにあった適切な事業支援の拡充を図り、経営課題解決に向け支援を実施するとともに地域経済の更なる活力を生み出せるよう事業を実施する。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 泉南市商工会

Ⅰ 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
昨年、エネルギーの安定供給や労働力不足への対応、新たな成長分野の開拓など様々な課題に直面し中小企業にとっては厳しい経営環境にあった。当商工会では経営指導員の窓口対応や巡回訪問時に事業主とのコミュニケーションを図り、経営状況の課題抽出を心掛け相談支援を実施した。事業所へのサービス提案では課題解決に向けた支援内容を明確に提示し、改善出来るまで継続支援していくという強い姿勢から相談事業者の信頼を得られるよう努めた。経営相談支援事業は令和5年度より開始されたインボイス制度や電子帳簿保存法の対応に伴い記帳支援件数が多い年となり、事業所の知識習得に向けた丁寧な支援に努めた。高度専門化する相談内容に対応するため、専門家の知識が必要である場合が多く、弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家と連携（支援機関等へのつなぎ）出来る無料相談窓口体制を実施している。今年度より高齢化している事業所の事業承継案件のスムーズな対応を実現のため、大阪府事業承継引継ぎセンターと連携した事業承継無料相談窓口を月1回設置した。支援機関との繋ぎについては、必ず経営指導員も同行することを励行しており、経過を把握することが出来たことに加え、経営指導員の資質向上にも繋がった。						
<代表事例カルテ>						
神社仏閣や周辺店舗等へ手拭・土産物・お守り袋等の卸売業として昭和55年3月より営業。代表者の体調悪化に伴い、奥様の事業承継か廃業を経営指導員に相談。大阪府事業承継引継ぎセンターと連携し課題を整理した上で、インボイス制度に係る記帳支援等を実施した。						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	211	216	102.4%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	20	17	85.0%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	10	6	60.0%	4	
金融支援（経営指導型）	支援数	30	25	83.3%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	5	5	100.0%	5	
資金繰り計画作成支援	事業所	5	0	0.0%	-	
記帳支援	事業所	60	108	180.0%	5	
労務支援	支援数	45	44	97.8%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	0	1	-	3	
マーケティング力向上支援	事業所	5	1	20.0%	3	
販路開拓支援	支援数	45	57	126.7%	5	
事業計画作成支援	支援数	18	8	44.4%	4	
創業支援	事業所	5	20	400.0%	5	
事業継続計画（BCP）等作成支援	事業所	5	1	20.0%	3	
コスト削減計画作成支援	事業所	5	14	280.0%	5	
財務分析支援	事業所	20	30	150.0%	5	
5S支援	事業所	0	0	-	-	
IT化支援	事業所	5	6	120.0%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	-	-	
事業承継支援	事業所	5	7	140.0%	5	
災害時対応支援	事業所	0	0	-	-	
フォローアップ支援	事業所	50	50	100.0%	5	
結果報告	事業所	211	216	102.4%	5	
Ⅱ 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
税務相談においては、事業主の高齢化に伴い、事業承継（相続）に係る相談やインボイス制度・電子帳簿保存法への対応の相談が多く、スムーズに事業を行うため税務面からの解決に役立った。法務相談においては、労務相談や税務相談では対応しきれない事業遂行上の諸問題に対し、法律面から適切なアドバイスをしていただき、解決に向け前進させることが出来た。労務相談においては、各種助成事業の紹介や取り組み・労使双方の問題解決、就業規則の見直しや新規採用に向けたアドバイス等を実施した。経営相談においては、各事業所の抱える経営問題を掘り下げ、経営状況の分析に基づいた適切な支援を実施することが出来た。						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	相談件数	6	12	200.0%	5
税務相談	継続	相談件数	6	12	200.0%	5
金融相談	-	-	-	-	-	-
労務相談	継続	相談件数	6	6	100.0%	5
その他相談	継続	相談件数	12	13	108.3%	5

4. 地域活性化事業

泉南市商工会

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>商業・工業関係における地域活性化事業では、参加事業所の増大と充実を支援のポイントと捉え、参加事業所の目線で事業を実施した。</p> <p>「せんなんまちゼミ」は実行委員会を中心に参加店勉強会や交流会を通じて、事業所間のネットワーク構築を目的に消費者と個店を強く結び付ける事業として開催した。「デジタルスタンプラリー」を実施する等、新たな集客手法を事業者が学ぶ契機となるよう支援した。市内事業所の販売機会の創出を目的に「地域連携型「泉南まるごと物産展」事業（泉南まるごとフェスティバル）」を泉南ロングパークにて来場者7,500名を迎え、泉南市及び各関係団体との広域連携による『オール泉州』で開催した。事業者が売上アップを図るため、販路開拓や商品開発などに取り組むことができるよう支援した。今年度は泉南市と連携し「せんなんSDGs万博」として泉南市主催の環境教育イベント『ウミガメを待つビーチ』を泉南りんくう公園にて同日開催した。</p> <p>「工業振興対策事業」は工業振興対策委員会にて会議を重ねて、ニーズが高かった生成AI活用セミナー開催した。業務効率化やアイデア創出を目的にしている事業所に対して、具体的な活用事例を説明し生成AIを操作する体験型セミナーとして実施した。事業所視察と情報交流会では河内長野市に所在する2社を視察した。事業歴が長く経営理念を大切にされ、変革を恐れずに常に挑戦されている経営戦略は参考になった。「脱炭素経営へ向けた取組み支援事業」では中小企業の課題解決や取り組み方法の周知を目的に脱炭素経営×2025大阪・関西万博セミナーを開催した。参考事例、中小企業支援施策の説明、地元企業の事例紹介や万博の最新情報をわかりやすく説明した。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業	35	27	77.1%	100%	まちゼミ実施後のアンケートにおいて事業所や商品のPR、新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合	70%	85.1%	121.6%	5
	工業振興対策事業	35	44.5	127.1%	94.4%	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合	70%	97.6%	139.4%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	54	60	111.1%	93.3%	新規客獲得・売上増加した事業所数	35社	55社	157.1%	5
○	脱炭素経営へ向けた取組み支援事業	40	43.5	108.8%	97.7%	今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合	80%	88.1%	110.1%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書			
泉南市商工会			
事業名		得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業	
想定する実施期間		H29 年度～	年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	泉南市では商店街が形成されておらず、商業集積地が点在しているため、個店の集客力が乏しく収益をあげるのが難しい現状がある。また大型商業施設の進出、少子高齢化などで従来の顧客が減少してきていることも売上低下の要因としてある。そのような状況の中、大型店にはない個店・事業主の魅力を伝え、消費者と個店を強く結びつけることが出来る「まちゼミ」事業を実施することで、個店には新規顧客と売上を、お客様には満足を、地域には賑わいを取り戻すことを目指す。	
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉南市内で事業を営んでいる事業所で、個店の魅力アップと地域活性化に積極的に取り組もうとしている小売及び飲食を含むサービス業。またBtoCを行っている製造業。	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【第8回せんなんまちゼミの実施】 令和7年1月17日～2月14日の期間で、得する街のゼミナール「第8回せんなんまちゼミ」を開催し、泉南市内の27事業所において47講座を開講した。今回集客を目的として新たにデジタルスタンプラリーを導入したことで受講者を増加（前年比128名）させることができた。 【まちゼミ実行委員会】8回開催 参加店舗の主体的な関わりを促すため、3名の委員と事務局で構成される実行委員会を実施し事業を推進した。 令和6年 4/11、4/23、5/23、6/25、7/25、8/22、11/7 令和7年 2/27 【まちゼミ参加店勉強会】3回開催 下記の通り研修会と結果検証会を開催し、全体的なブラッシュアップや事業者同士の協力関係を築くとともに、主体性の育成を図った。 ①第1回参加店研修会 令和6年9月25日（水） 内容：まちゼミ基本研修、商売にも役立つ集客術「ターゲット分析・ペルソナ分析」 ②第2回参加店研修会（まちゼミリハーサル） 令和6年12月4日、5日 内容：実行委員・事務局が参加店舗を訪問しリハーサルを通してオペレーションや注意点など確認し本番に万全を期すため開催した。 ③結果検証会 令和7年3月28日（木） 内容：受講者アンケートと講師店アンケートの振り返り、今回の成果、良かったこと悪かったことの共有、次回に向けての課題分析をおこなった。 【イベントでのまちゼミPRブース運営】 令和6年11月17日（日）に泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）で開催された「泉南まるごとフェスティバル」にてまちゼミPRブースを設置、せんなんまちゼミ事業の認知度向上とせんなんまちゼミ公式LINEアカウント登録勧奨のためミニ講座体験（スーパーボール作り）を実施し、結果50名が体験講座に参加し、その内約30名がせんなんまちゼミ公式LINEアカウントを友達登録するに至った。 【まちゼミオープンチャットの活用】 今回から参加店同士がリアルタイム・気軽にまちゼミに関する情報共有ができるようLINEを活用したまちゼミオープンチャットを導入した。ゼミの受付状況や疑問質問を参加店間で共有したことで参加意欲を高めることにつながった。	
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞	
		①府施策連携	
		②広域連携	
		③市町村連携	市町村連携：事業実施の際には泉南市の商業担当者とも連絡を密にとり、市広報への掲載や泉南市公式ラインやフェイスブックでの開催告知、泉南市内の幼稚園・小学校・中学校へのチラシ配布など広報面に連携を行った。
		④相談相乗	(d)相談事業相乗効果：まちゼミ参加事業所に対し、SNS活用支援や独自でのゼミ開催に向けたPOP作成などの販路開拓支援、マーケティング支援、またコラボ講座を企画するにあたって企業同士の紹介支援を実施することでカルテ化につなげた。

事業 全 体 の 実 績 ／ 目 標 達 成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	35.0	総支援企業 数(実績)	27.0	支援 実績率	77.1%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	【第8回せんなんまちゼミ】の開催 令和7年1月17日～2月14日の期間で得する街のゼミナール「第8回せんなんまちゼミ」を開催し、泉南市内27の事業所において47講座を開講した。地域住民と事業所のコミュニケーションの場を創出することができ、事業者のファンづくりにつながった。今回新たにに取り組んだスタンプラリーは地域住民のゼミに参加する意欲を刺激し、期間中の累計参加者は501名と前回から128名増加させることができた。								
		1.支援企業数（実績）について 募集方法・・・会員事業所への郵送、巡回時の案内、参加事業所からの紹介 参加企業数・・・計画段階では35事業所を目標としていたが、感染症の流行や寒波への懸念から参加を見送る事業所もあり27事業所が参加するにとどまった。参加店舗は減少したものの開催講座数は増加していることから、店舗のまちゼミへの参加意欲の高まりを感じた。								
		2.満足率について まちゼミ実施後の講師店アンケートにて、「今回のまちゼミに参加してどうでしたか」の問いに対して「満足」「やや満足」と回答した比率 27件/27件＝100%								
		3.指標について せんなんまちゼミ実施後のアンケート、ヒアリング、結果検証会において事業所や商品のPR,新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合 支援企業数・・・・・・・・・・・・【27】 成果があった事業所数・・・・・・【23】								
	代表指標	まちゼミ実施後のアンケートにおいて事業所や商品のPR、新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合								
	数値目標	70%		実績数値	85.1%		目標達成度	121.6%		
	成果の代表事例	英会話塾事業者・・・泉南市の自宅で英会話塾を営んでいる事業者で、今回で2度目のまちゼミ参加となる。新規顧客開拓を目的にまちゼミに参加しており、今回3種類の講座を開催し44名集客することができた。他の事業者と連携してコラボ講座も開催しており積極的に事業者間の連携をとっている。今回のまちゼミを通じて英会話塾へ興味をもった参加者も複数名おり、今後顧客につながる可能性が高い。								
	その他目標値の実績	目標値 (計画)			目標値 (実績)			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	参加店間のモチベーション格差への対応 ・今回スタンプラリーを導入しゼミ参加者数が大きく伸びたことで、参加店の満足度が上がりまちゼミに対して前向きに取り組む姿勢が見られた。一方で参加店向け勉強会に参加していない事業者からは前向きな姿勢が見られることはなく、参加店間のモチベーションの格差が浮き彫りとなっている。次回に向けてモチベーションの格差解消をめざし取り組みを検討する。								

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										商工会等支援事業実績報告書	
泉南市商工会											
事業名		工業振興対策事業									
想定する実施期間		R3 年度～		年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	りんくう地域を中心とした沿岸部、市内内陸部と山陸部に点在する製造業を中心とする工業系事業者にとって、経営課題を共通認識し課題解決に向けた地域事業者間の情報交換は重要度を増している。先進事業所などの技術やノウハウ、経営方針など他社事例を視察することで自社の気付きや取り組む方向性を見出し前向きに経営すること、また中小企業が有する共通・共有の経営課題解決に向けた経営セミナーを開催し、経営力の向上に対するそれぞれの意識を高め、その結果として工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化を目指すことを目的とする。									
	支援する対象 （業種・事業所数等）	製造業を中心とした工業系事業者。									
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	工業系事業者をターゲットとし、自社の経営力強化に結び付くよう下記事業を開催した。 ①経営セミナー【人材育成型】 経営セミナーとして、工業振興対策委員会にて、事業者の経営力の向上に資するものを検討し、生成AIの活用セミナー内容を決定し、令和7年2月5日（水）15時～16時30分にて「生成AI活用セミナー」を開催した。 ②事業所視察と情報交流会【人材交流型】 工業振興対策委員会にて視察先を検討し、令和7年3月26日（水）9時30分～16時15分にて、河内長野市に所在する井上スダレ(株)「すだれ資料館」と西條合資会社2社を視察先として、事業所視察ツアーを開催した。また、合わせて情報交流会を実施し、自社PRの取り組みや、情報発信・名刺交換を行い、他社の現状や経営方針を聞くことで、双方向での交流拡大が図れ、また商工会から参加事業者へそれぞれに適した支援施策の情報提供を行った。 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞									
		①府施策連携									
		②広域連携									
③市町村連携		泉南市産業振興課商業施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。									
	④相談相乗	セミナー参加事業所より、生成AIをビジネスに活用できるのかの相談対応行った。事業所視察における情報交流会において、支援施策等の情報提供を行い、事業所支援へとつなげることができた。									
事業全体の実績／目標の達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	44.5	支援実績率	127.1%	満足率	94.4%		
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	当商工会工業振興対策委員会にて会議を実施し、経営セミナーについては、生成AI活用セミナー開催を決定し、事業所視察と情報交流会として、河内長野市に所在する井上スダレ(株)「すだれ資料館」と西條合資会社2社を視察先として事業所視察を実施した。 ①経営セミナーについて 生成AI活用セミナーを開催し、生成AIの現状、動向、活用事例、活用方法を紹介した。実際に生成AIを使って体験してもらい、体感することでよりわかりやすく活用の仕方を学んでもらった。本セミナーを受講してもらい、事業でも活用してみたい、事業運営に役立ててみたいと感じていただいた。 ②事業所視察と情報交流会について 事業所視察先として、河内長野市に所在する井上スダレ(株)「すだれ資料館」と西條合資会社2社の視察を実施した。井上スダレ(株)「すだれ資料館」では、伝統工芸品の簾の伝統的な簾の技術、技法を目で触れて体感してもらった。また、西條合資会社では、天野酒を製造する酒蔵を視察し、三百有余年の歴史ある伝統の酒造を学んでいた。2社とも長年事業を続けておられ、経営理念や、時代に合わせて変化してきた経営戦略を学ぶことができた。 他事業者と一緒に視察を見学することで、コミュニケーションが生まれ、その中で情報共有や情報交換といった地域事業者との交流のきっかけとなった。									

目標達成度		代表指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合				
		数値目標	70%	実績数値	97.6%	目標達成度	139.4%
	成果の代表事例	①経営セミナーについて 生成AI活用セミナーを通じて、具体的な活用事例や体験型で実際に生成AIに触れることで、活用法を学ぶことができた。事業に生成AIを活用につなげるきっかけにもなり、気づきを与えることができた。 ②事業所視察と情報交流会について 長年事業を続けてきた経営理念や、時代に合わせて変化してきた経営戦略を学ぶことができた。伝統を守りながら革新を続ける姿勢は、現代のビジネスにも通じ、参加事業者に好影響を与えた。また、他社との交流の場がない中、名刺交換や情報交換といった地域企業の交流をはかることができた。					
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取り組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	中小企業が有する共通・共有の経営課題解決に向けた経営セミナー開催や、事業所視察を実施することで自社の気づきや前向きな経営活動となるよう、次期以降も継続して取り組む。また、事業者との交流の場となる機会を創出し、つながりを増やし、工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化となるよう継続して実施していく。					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	126.7%	満足率	87.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	生成AIの活用事例、実際に生成AIを体感して活用方法学んでもらい、自社事業において、生成AIを導入するきっかけとなった。							
		指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	95.5%	目標達成度	136.4%		
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	25.5	支援実績率	127.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	河内長野市に所在する井上スグレ㈱「すだれ資料館」と西條合資会社2社を視察し、長年事業を続けてきた経営理念や、時代に合わせて変化してきた経営戦略を学び、自社活動に活かす気づきや学びへとつながった。また、他社との情報交換を交わすことができ、名刺交換、情報共有を行うことで、交流の場にもなった。							
		指標	視察先の取組を参考にし、経営課題の解決の取り組み、取り組みたいと回答した事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%		
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書			
泉南市商工会			
事業名		地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	
想定する実施期間		H25 年度～	年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	商店のほとんどの店舗が点在している泉南地域では、商店街等の商業集積地域が少なく、また大型店の出店に伴い商店が疲弊し集客力に乏しいのが現状である。そこで地域の事業者の店舗を1ヶ所に集め物産展を開催することで集客力を高め、大型店にはない泉南地域の事業所自慢の商品やサービスを展示PR・対面販売することで商品の良さを周知し、新規顧客獲得と販路開拓につなげる。	
	支援する対象 （業種・事業所数等）	泉南地域2市3町（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の事業者全般	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【泉南まるごとフェスティバルの開催】 令和6年11月17日（日）10時～15時に5回目となる「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）で開催した。当イベント内において「地域連携型泉南まるごと物産展」を開催し、近隣商工会と連携して計60社（泉南市36社・阪南市12社・熊取町7社・岬町3社・忠岡町2社）が軒を連ね商品と事業所のPRを行った。当日の天候は午前中くもり、午後からは晴天に恵まれ穏やかな天候のもと約7,500名の来場者を迎えることができ各出展事業所の販売・PRに寄与した。 本イベントは、過去に7回開催した地域活性化イベント「泉南マルシェ」を令和2年にリニューアルし、後継イベントとして泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催しており、泉南市内のみならず市外からも多くの人を集められるイベントとして成長している。 事業者が出店する「泉南まるごと物産展」、手作り作家が出店する「手作りの森マルシェ」、農業者と漁業者が一次産品を直接販売する「新鮮市場」、大阪府技能士会連合会と連携したものづくり体験教室、泉州地域の各種団体がそれぞれの活動をPRするブースなど、総計で100を超えるブースが並び会場を盛り上げ、盛会のうちに終了することができた。 今回、本イベントについて来場者からアンケートを回収し来場者の属性やニーズを把握した。このアンケート結果を踏まえ次回以降事業を推進する。	
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>	
		①府施策連携	大阪府施策連携事業による大阪府技能士会連合会と連携したワークショップ（ものづくり体験教室）を実施した。
		②広域連携	単独事業ではなく連携した商業活性化の施策として5商工会（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の広域連携で実施した。
		③市町村連携	泉南市主催のイベント「せんなんSDGs」を同時開催、市担当者と連携を取りながらイベント実施、広報を行った。 またイベント実行にあたっては地域の事業者の集まりである新まごころしょうたの会、泉南市商工会（青年部、女性部）、泉南市商業担当者や関係諸団体からなる運営協議会を組成しイベント開催に向けた企画検討や相互連絡の場を設け、開催前には広報連携し情報発信を行った。
		④相談相乗	出店申込の段階でヒアリングし、出店に向けた課題の解決、魅力ある出店に向けた支援、イベント出店から顧客に繋げる手法についての支援を実施した。

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	54.0	総支援企業数(実績)	60.0	支援実績率	111.1%	満足率	93.3%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	『泉南まるごとフェスティバル』は各団体の垣根を乗り越え、泉南市の行政・商業者・商工会がワンチームで取り組む一大イベントであり、商工業者のみならず農漁業者や、地域の様々な団体を出店し、泉南地域の魅力を広く発信することができた。 イベント当日は、泉南市内のみならず近隣市町村や他府県からの来場もあり、泉南の物産・店舗についてPRし販路開拓、売上につなげることができた。回を重ねるにつれて地元からのイベント認知が広がり、泉南市内の事業者からの出店希望数が増加傾向にあり、ニーズの高い事業となっている。（23社→26社→32社→34社→36社） 物産展への出店を通じて、事業所には商品開発や販促方法について前向きな意識変化をもたらすことができた。							
		1.参加企業数（実績）について 泉州地域の5商工会による広域連携事業として実施し、泉南市から36店舗、阪南市から12社、熊取町から7社、岬町から3社、忠岡町から2社、合計60社の出店となった。 2.満足率について まるごと物産展終了後のアンケートにて満足・やや満足と回答した出店事業所の割合（56/60）を計上している。 3.指標（新規顧客獲得・売上増加した事業所）について ①販売件数50件以上 ②販売金額20,000円以上 のどちらかに該当する事業所の割合（55/60）を計上している。							
	代表指標	新規客獲得・売上増加した事業所数							
	数値目標	35社	実績数値	55社	目標達成度	157.1%			
	成果の代表事例	小売業・・・泉南市内の農産物直売所 野菜や果物の価格が高騰する中、本事業所はイベント会場にてみかんの詰め放題を実施し多くの来場者を集客することができた。その他新鮮な地元野菜や果物もイベント特価としてお得に販売しており、イベントきっかけに店舗のことを知った消費者が後日の来店につながっている。 会場にて詰め放題が大人気だったため、その後店舗でも同様の企画で集客につながっている。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）	4,000名	目標値（実績）	7,500名	目標達成度	187.5%		
		イベント開催にあたり、新聞折込やポスティング、地域の幼稚園・小中学校でのチラシ配布、Instagram・Facebook等のSNS活用、出店事業者への開催告知協力依頼等により告知をはかった。その他イベント情報サイトを活用した情報発信を行ったことで、泉南市内外、他府県からの集客にもつながった。							
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	【店舗配置の検討】 泉南市内から出店を希望する事業者や関連団体は増加傾向にあり、現状の配置構成だと今後会場の収容能力を超える可能性があるため、今後の状況によっては配置の見直しが迫られる可能性がある。また、イベント会場は細長い長方形型をしており、一番奥まで来場者に足を運んでもらうための工夫が必要だと感じている。							

令和6年度（2024年度）小規模事業経営支援事業										商工会等支援事業実績報告書			
泉州市商工会													
事業名		脱炭素経営へ向けた取組み支援事業											
想定する実施期間		R5		年度～		年度まで ※複数数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小企業が『2050年CO2排出量実質ゼロ』を目指し、未来社会の情報共有や持続可能な脱炭素社会へ向けた取組みなどを紹介する。各企業が現状把握することで、事業活動の課題を把握・対策を講じるキッカケにし、新事業展開も含め事業経営に取り組むことを目的とする。また、関西国際空港近郊区域でもある泉州において、2025年大阪・関西万博開催に向けた中小企業の参画促進を目指し、経済効果や最新情報を各企業に波及させることを併せて目的とする。											
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉州地域2市3町(泉州市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町)事業全般の経営者を対象とする。											
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催内容：脱炭素経営×2025大阪・関西万博セミナー 開催日時：令和6年10月29日(火)14時00分～16時00分 開催場所：泉州市商工会館 ●情報提供 大阪府から脱炭素経営宣言、J-クレジット制度を活用した万博関連事業について情報提供を行った。 ●第1部「脱炭素社会に向けた成功事例と今後の未来社会について」 「脱炭素社会とは何か」等の知識や「何から取り組めばよいか」等のノウハウをわかりやすく事例を交えて解説をした。 ●第2部「脱炭素の取り組み事例発表」 山陽製紙(株)より脱炭素における取り組み事例を紹介した。 ●第3部「2025年大阪・関西万博開催における最新」 2025年大阪・関西万博の概要・動向について最新情報を提供した。 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 中小企業支援室経営支援課企画調整G、環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 気候変動緩和・適応策推進Gと連携し、中小企業に対しての情報提供を実施した。 ②広域連携 連携商工会の担当者と随時連絡を取り、参加募集、チラシ配布やHP掲載など業務を分担した。 ③市町村連携 泉州市産業振興課商業施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。 ④相談相乗 中小企業等向けの脱炭素における支援施策についての相談対応を行った。また脱炭素経営宣言、J-クレジット制度について情報提供を行った。											
		計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	43.5	支援実績率	108.8%	満足率	97.7%			
		事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	脱炭素経営×2025大阪・関西万博セミナーを開催し、まず大阪府から脱炭素経営、J-クレジット制度を活用した万博関連事業について情報提供を行った。 第一部「脱炭素社会に向けた成功事例と今後の未来社会について」では、中小企業にとってもこれからの課題となり、気づきや意識付けになった。また、参考事例、中小企業支援施策の説明、解説をし、参加受講者の方の満足度も高いセミナーとなった。 第二部「脱炭素の取り組み事例発表」では、当会員事業所でもある山陽製紙(株)より、脱炭素の取り組み事例を発表してもらい、脱炭素の取り組みを身近に感じてもらい、経営課題として認識してもらった。 第三部「2025年大阪・関西万博開催における中小企業の最新情報について」では、最新の情報を提供し、関心が高まり機運醸成につながった。									
				代表指標	今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合								
			数値目標	80%		実績数値	88.1%		目標達成度	110.1%			
成果の代表事例	セミナーを受講後、脱炭素経営の取り組みの内容や成功事例を学び、具体的な脱炭素経営につながる支援や2025年大阪・関西万博開催参画につながる伴走支援はできなかったが、地元の企業の山陽製紙(株)が脱炭素の取り組みを発信していただき、脱炭素経営の関心を深めてもらい、環境問題への意識の高まり、事業経営に脱炭素を取り入れる契機となりました。												
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)				目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	脱炭素社会実現に向けて中小企業にとっても今後のテーマであることを認識し、課題解決や今後の方向性を示す内容のセミナーを実施できたが、事業所が経営課題として脱炭素経営を重要視するまでには到達できなかったことが今後の課題である。今後も国や大阪府の脱炭素経営に関する施策について最新の情報発信を行っていく。											